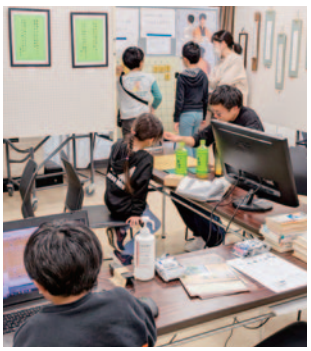
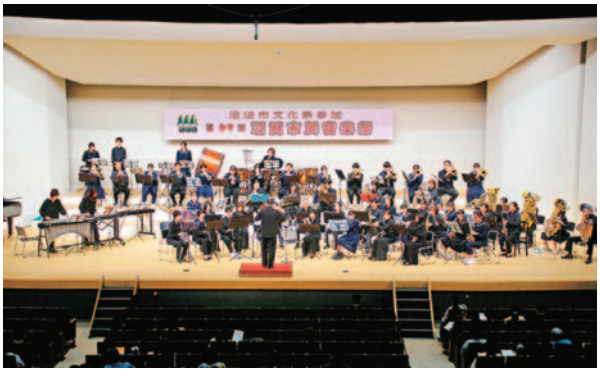




沼田市文化協会だより

発行責任者
沼田市文化協会
会長 金井竹徳

事務局
沼田市下之町888
沼田市教育委員会
生涯学習課内
(23) 2111

題字　池田翠雲

聖者に繋がる文化

沼田市文化協会会長　**金井竹徳**

仏教を開いたお釈迦さまには、「阿羅漢」と呼ばれる多くの仏弟子がいます。悟りを開いた尊敬に値する聖者たちで、古代インドで信仰が生まれました。

埼玉県川越市の名刹「喜多院」の境内の一角には、江戸中期に造られた五百種の羅漢群が所狭しと、多種多彩な姿態や顔容で並んでおり、観る者を圧倒します。

羅漢群は、人間の表情や所作の全てを網羅していると言われます。

成すべきことを終えて、悟りを得た者たちの、達観した表情や姿は、それぞれに外連味なく奥深い。文化は人々に楽しさや、感動を与え精神的な安らぎや生きる喜びをもたらし、人生を豊かにし、温かな人間性を涵養すると言われます。羅漢たちの人間臭い表情を観ると、文化の根源と羅漢信仰の教義は繋がっているように思えます。

私の住む地区では、毎年秋に「文化作品展」が行われます。絵画や写真、手芸、陶芸、彫刻などの展示の他、地域性を考えた関心や興味を引くコーナーを設けています。

昨秋の展示会では町内の美術家に依頼し、特別イベントとして平安時代に公家の間で流行した「貝合わせ」の遊びを行いました。

艶やかな色使い、貝殻の曲形や輝き、未知の体験に参加者の歓喜の声が上がりました。文化の集いという小さな一石が渦となり波紋を広げる様に妙味を感じます。

地域の結束や繁栄、異世代間の交流。文化を柱とした試みの継承は、大きな副産物をもたらしてくれます。

おめでとうございます

令和七年度 文化庁地域文化賞

坂東富三輔（ばんどうとみすけ）氏
（岡嶋稜子（おかじまりょうこ））
沼田市邦楽協会

文化庁地域文化賞は、全国において芸術文化の振興等に功績のあった個人及び団体を文部科学大臣が表彰するものである。

坂東（岡嶋）氏は、長年にわたり、日本舞踊家として優れた活動を行い、地域文化の振興に貢献し普及発展に尽力している。

令和七年度 群馬県文化賞（文化功労賞）

桑原久男（くわばらひさお）氏
沼田茶道会

群馬県文化賞（文化功労賞）は、長年の文化活動において優れた成果を挙げ、県の文化振興に顕著な功績のあった方に授与される。

桑原氏は、長年、茶道を通じて、文化活動の発展・振興に多大な貢献をしてきた。現在は沼田茶道会会長、沼田市文化協会副会長として活躍している。

令和七年度 沼田市社会教育功労賞

川田幸夫（かわだゆきお）氏
沼田書道協会

沼田書道協会に入会以来、監事、常任理事、会計等を歴任し、十数年に渡り協会の事業推進に尽力している。毎日書道展、創玄書道展、日展等の中央展にも参加し、書道技術の研鑽に努めるとともに、後進の指導にもあたり、地域における書道文化の振興発展に寄与している。

栗原光雄（くわばらみつお）氏
白沢支部

昭和五十二年の白沢村将棋クラブ設立当初から長きにわたり活動を続け、中学校文化祭で体験学習の講師を務めるなど、地域の文化活動に献身的な活躍をしている。平成二十六年には沼田市文化協会白沢支部長に就任し、文化祭や芸能祭をはじめ地域の文化振興に貢献している。

山田英子（やまだえいこ）氏
沼田市音楽協会

平成十一年度に音楽協会会計に就任して以来、運営に力を尽くし、社会教育の普及・振興及び音楽文化の発展に多大なる貢献をしてきた。特に令和六年度の市民音楽祭では、市内中学校五校の吹奏楽部の出演を計画し、関係団体との連絡や調整を積み重ね、見事に実現させた。

割田保之（わりたやすゆき）氏
沼田祇園囃子保存会連合会

幼少期よりお囃子に親しみ、上之町祭吉連の立ち上げに努めた。全関東祭囃子コンクールにて優秀な成績を収め、昭和五十四年沼田祇園囃子保存会連合会創立に向けて尽力した。ドイツ・フュッセン市でのお囃子披露や後進の育成等、地域文化の活性化に多大に貢献している。

この冊子は文化協会だより「ききょう」のダイジェスト版です。文化協会の詳しい活動内容については生涯学習課市民文化推進係にお問い合わせください。（☎23−2111）

令和七年度 沼田市文化協会文化功労賞

桑原久男（くわばらひさお）氏

沼田茶道会

昭和六十年沼田茶道会に入会、理事、本部役員、副会長を経て、令和四年より会長に就任し会の運営に中心的役割を担っている。県内数多くの茶会に呈茶し、地域の文化活動に多大に貢献している。現在は沼田市文化協会副会長として会の運営にも尽力している。

桑原秀行（くわばらひでゆき）氏

沼田盆栽愛好会

平成七年から会の理事、令和二年から副会長として、沼田盆栽愛好会の中心的な役割を果たしている。自ら盆栽技術の向上や研究に努め、会員への技術指導や会の運営発展に貢献し、積極的に諸行事の推進を図ってきた。地域の盆栽文化の普及と発展に寄与している。

霜垣ユミ子（しもがきこ）氏

絵手紙クラブ　夢の会

平成十四年に市内小学校等でボランティア活動を始め、二年後、日本絵手紙協会で指導資格を取得し活躍している。絵手紙クラブの代表として中心的な役割を果たすとともに、自宅で絵手紙教室を開催する等、幅広い豊かな技量を発揮し、地域文化の発展のために尽くしている。

須藤キミ子（すとうこ）氏

大洞流沼田吟詠会

昭和五十五年に入会以来、宗家の故岸大洞先生の指導の下、現在に至る。邦楽協会、沼田市文化祭、郷土芸能祭、群馬県吟剣詩舞道総連盟等で活躍している。八月に沼田高校の生徒が全国高等学校文化祭に出場するなど、幼少年の指導者としても文化振興に多大なる貢献をしている。

田村恵子（たむらけいこ）氏

沼田読み聞かせの会

三十一年間にわたり読み聞かせの会の活動に取り組み、平成十二年をはじめとして六回会長を務めてきた。読み聞かせの楽しさを広めるため、技術の伝達や活動の場の設定等、常に自己研鑽を積んできている。幅広い年代に向けた地域の読み聞かせ活動の普及に多大に寄与している。

中村サト子（なかむらさとこ）氏

利根沼田華道会

師範取得後、華道教室を開き、多くの門弟を輩出している。家元研修や京都・東京花展にも出瓶し、常に自己研鑽に努め、後輩の育成にも寄与している。令和三年から五年まで利根沼田華道会会長として、中心的役割を担い、華道繁栄のため尽力し、文化発展に大きく貢献してきた。

柳澤逸男（やなぎさわいつお）氏

白沢支部尾合八木節保存会

平成十八年に尾合八木節保存会に加入以来、事務局として白沢芸能祭等の様々な団体活動の運営に尽力されている。平成三十年に沼田市文化協会白沢支部長に就任し、現在も顧問として活躍している。文化祭・芸能祭をはじめとした地域の文化振興への功績は多大である。

第七十一回 沼田市文化祭

沼田市文化祭は十一月一～三日を中心に、主会場を利根沼田文化会館として、二十九団体が参加して開催されました。

先行して十月二十六日に「邦楽舞踊発表会」二十七日から「利根沼田菊花大会」（沼田公園）が行われました。

一日には、大ホールにてオープニングセレモニーが行われ文化祭が盛大にスタートしました。

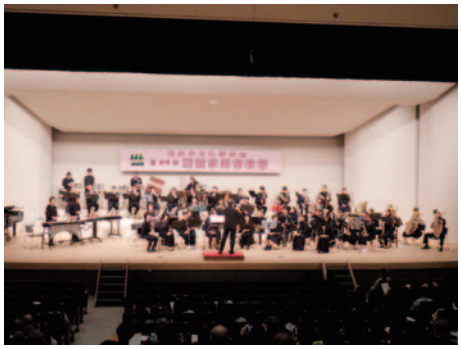
展示部門では、美術、書道、華道、短歌、川柳、絵手紙、玉原の自然、盆栽（保健福祉センター会場もあり）の展示、さらに茶席、香席、読み聞かせ、将棋体験も行われました。

舞台部門では、一日、二日に歌謡、吟詠、多彩な舞踊等十団体のステージ発表が行われました。一日には、伝統芸能発表会が同時開催され、祇園囃子、日本舞踊、人形芝居、和太鼓の発表で盛り上げました。

三日には、沼田市民音楽祭も開催され、昨年度からの中学生の吹奏楽参加もあり、「沼田の歌」の演奏でスタートし、素晴らしい歌や演奏が披露されました。三日に歴史散歩、二十二日に読み聞かせの会の講演会も行われました。

今年度は、主会場を文化会館にまとめたこともあり、来場者も増えました。会員各自が日常、研鑽に励む成果が存分に発揮され、充実した文化祭となりました。（事務局）

オープニングセレモニー


沼田市民音楽祭

邦楽舞踊発表会

保健福祉センター

伝統芸能発表会

沼田公園

利根沼田文化会館大ホール

文化会館事務室棟

文化会館事務室棟

◆白沢支部

令和七年度は、文化活動を通じて「地域をダメにしない」を合言葉にして、十八団体・会員二百三十五人の現在、一人でも多くの仲間を増やすことに努めました。

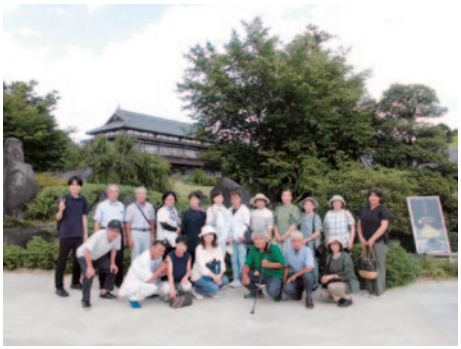
まず昨年できなかった研修旅行を七月三十一日(木)に東毛地区を中心に開催しました。

第五十五回となる白沢町文化祭を十一月一日(土)～二日(日)に、白沢小・中学校及び白沢保育園福祉作業所・しらさわみらい会の参加をいただき賑やかに開催できました。

沼田・利根地区の小・中学生による詩や作文を通じ「地域を愛する心」と「文化の芽」を育むことを目的にした「ふるさと文学賞」の協力団体として、この一月二十四日(土)に表彰式が行われました。

そして、三月八日(日)には第四十三回芸能祭と同時に、町独自の文化功労賞の表彰式を行いました。

令和６年度ふるさと文学賞表彰式より


研修旅行

白沢町文化功労賞受賞者

白沢町芸能祭

◆利根支部

利根支部では「全国ふきわれ俳句大会」「利根町文化祭」「利根町芸能祭」を支部の三大事業として実施しています。

沼田市の魅力を発信し、俳句文化の振興を図る「全国ふきわれ俳句大会」は、今年で三十五回目となり、一般の部から三百六十四句、小学生・中学生の部から三千八百五十八句の応募がありました。一般の部の特選・特別賞(沼田市長賞)の受賞者は次のとおりでした。

特選

回想の　泪一滴　滝がうがう　関口　幹雄

特別賞（沼田市長賞）

足元に　滝の音風に　なる私　岡本　恵

十一月十五日、十六日に「利根町文化祭」及び「利根町芸能祭」を開催いたしました。文化祭と芸能祭の同時開催は初めての試みでしたが、多くの方にご来場いただきました。

「利根町文化祭」は日頃の成果を発表する場所として、文化協会利根支部加盟団体、児童・生徒の作品等、多くの方の作品が展示されました。

「利根町芸能祭」は、約六年ぶりの開催となりました。利根支部加盟団体としては追貝八木節保存会が出演し、一般では追貝獅子舞保存会、ハナフラメンコスタジオ、Misaki(ギター弾き語り)にご出演いただきました。

同日のイベントとして十五日には、外部講師をお招きして寄せ植えと消しゴムはんこのワークショップ、輪投げ大会、モルック大会及び市社会福祉協議会利根支部によるズッとねちゃん（マスコットキャラクター）表彰式&お菓子ガチャが開催されました。十六日には地域づくり協議会による「寄席」及びみんなんち園原によるおでん配布が行われました。また、両日なぞとき抽選会及び地域づくり協議会によるフォトコンテストの結果発表も行われました。多くのイベントと同時開催することで、より多くの方にご来場いただくことができました。

芸能祭（追貝八木節保存会）

利根町　文化祭

沼田市文化協会加盟団体一覧

部会名	団体名	代表者名
美術部会	利根沼田美術協会	長田　清
書道部会	沼田書道協会	小池　龍実
音楽部会	沼田市音楽協会	山田　英子
	沼田カラオケ連合会	小林　定雄
舞踊部会	沼田つくしの会	山田　和子
	上州沼田天狗の里面友会	田島　護
	繭の絆	星野千寿子
	谷間のゆりフラシスターズ	石原　久美
古典部会	沼田祇園囃子保存会連合会	大竹　繁生
	沼須人形芝居あけぼの座	金井　竹徳
邦楽部会	沼田市邦楽協会	岡嶋　稜子
	大洞流沼田吟詠会	小林　映子
茶道部会	沼田茶道会	桑原　久男
華道部会	利根沼田華道会	堀江百合子
文芸部会	利根沼田短歌会	田島智恵子
	利根沼田川柳愛好会	大竹　満
盆栽部会	沼田盆栽愛好会	石井　光治
	利根沼田菊花会	生方　弥壱
	沼田盆苦楽会	高山　良雄
将棋部会	日本将棋連盟沼田支部	高山　一男
香道部会	沼田香道会	中井　香子
手工芸部会	絵手紙クラブ（夢の会）	霜垣ユミ子
写真部会	沼田写真文化連盟	原　明弘
読み聞かせ部会	沼田読み聞かせの会	鈴木　富子
歴史部会	利根沼田歴史散歩の会	金井　竹徳

白沢支部	池田　進一
利根支部	室井　菊治

令和7年度本部役員

会長	金井　竹徳
副会長	岡嶋　稜子
〃	伊藤　重雄
〃	石原　久美
〃	桑原　久男
〃	池田　進一
事務局長	伊藤　重雄（兼務）
事務局次長	加藤　水絵
顧問	櫛渕　光彦
監査	小林　定雄
〃	堀江百合子

《編集委員》

委員長	伊藤	重雄
委員	岡嶋	稜子
〃	石原	久美
〃	桑原	久男
〃	池田	進一
〃	加藤	水絵
〃	中井	香子
〃	星野	千寿子
顧問	高橋	敬子
	金井	竹徳

編集後記

今年度も会員の文化活動が活発に展開され、活動の報告である「ききょう」が発刊できることに心より感謝申し上げます。

この間、コロナ禍があり、一時は集会やイベントの開催などが制限され、そのままの状態が続けば、文化的な活動が継続できなくなるとか、伝承されるべき芸能や技能が継承できなくなるようなことまでも心配されましたが、世界各国が早急にワクチンを開発したことなどで、今では一般的な病気になり、心配された事態は避けることができました。しかしながら、この数年の間にコロナ禍を契機として、沢山の文化活動団体が解散し、消滅したことも事実であります。沼田市も人口減少や高齢化が進み、文化活動を続けることができない団体や地域が出てきました。国の生涯学習や、生涯教育の推進のもと、公民館活動を通じて、たくさんの教室や講座が開催され、そこから沢山の文化活動団体が発足して、活動を支援する施設もできて、大きな文化のうねりを創りだしてきました。そうした活動を継続し、次代を担う若者たちが定着して生活できる街、高齢者も生き生きとして、明るく文化的に生活できる街。県内でも森林文化都市として、高い文化度を誇る沼田市の文化活動が、今後も継続されていくことの一助に、この冊子が役立てれば幸いです。

（編集委員長　伊藤　重雄）